

一 (別紙宣傳ビラ実物目入、文字赤色刷)

生徳と食慾。是等は人間行動の基礎となる。是等は合理的満足と共に多量に健全なる精神内  
容を維持する根本要件となる。自己存続の要件を満足する方法は何なり  
□ 生徳心の食慾の満足は結果的に子供が生れぬ。子供を生かすは母の自由と母の健康に依る。  
□ 母の健康を維持するは母の苦痛を免れた人、貧乏人の子沢山は苦痛を免れた人より少い。  
□ 産制の方法は適当か？ 胎盤解かり、母と胎児を用ふる方より母長を用ふる方より少い。  
□ 幼少期、何人への同使に出来るか？ 産制と倫理問題、産制と優生学、産制と婦人解放問  
□ 産制は人道に救済されるか？ 否？ 産制と労働問題、社会改造問題、産制を希望するは母より  
題、産制と農有問題、産制と労働問題、社会改造問題、産制を希望するは母より  
先づ来ては造語深、諸君の討論を待つ。

社會問題並ニ  
産児制限問題 大講演會

□十二月一日午後七時 主催 産児制限研究会  
□高砂公會堂

講師 京大講師 理学士 山本錦子氏 神井日己研究会 岩本錦子氏  
大阪日己研究会 久津見房長氏 同 奥田宗太郎氏  
師 同 三田村四郎氏 社會労働組合長 今吉一雄氏

二 演説ノ要旨

奥田宗太郎

抑又産児制限ノ必要ハ其ノ原因ニ三アリ 即チ貧乏之人  
(家産、生活難)ノ苦痛ヲ増サシムルニト、母体ノ健康ヲ保  
ツシムルニト、子供ノ幸福ニ関スルニト デアル今日ハ黄金可能  
資本主義ノ社會ヲ國家ノ基礎ニ産業立國デア  
法律其他ノ社會制度ニ殆ド資本主義ノ金儲ヲ推シ護ル  
様ニ出来テ貧乏人ハ自然ニ權利及自由ヲ奪ハレテ是レトテ資  
本主義ヲ攻毀シテ貧乏人ノ子沢山ナル所以ヲ説キ新ニ其ス  
主義ハ

- 一 貧乏人ノ負担ヲ輕クスルニト
- 二 母体ヲ健在ニスルニト
- 三 子供ヲシテ親ノ資産ニ相應スル幸福ヲ与フルニト

三